

理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田小学校
成田市幸町948-1

芽ぐむ・芽立つ・芽ぶく

印教研理科研究部長 四街道小学校長 京相光徳

昨年度も、先生方の努力が高く評価されたことを喜ぶとともに、本年度もより一層お願いいたします。

さて、学習指導要領の移行措置が発表されました。今までの改訂と違つて、前倒しが認められており、校内体制や指導内容・方法の十分な検討が必要となつてきます。

特に、理科は内容の削減や移行が多くなつていきますので、移行期間中、改訂後の取り扱いを明確にし、おくことが大切になります。

昨年書きましたが、時数の削減で実験・観察が十分に確保できなくなつたり、細切れの指導で理科のおもしろさを体験させることが難しくならないようにしたいものです。また、総合的な学習の時間と理科学習のねらいのすり合わせや、横断的・総合的指導を推進する手立てをどうすれば良いのか等、各学校に与えられた課題は多く、早急な取り組みが望まれます。

ところで、昨年度のサイエンスグランプリの審査講評の中で、日本人の感覚について述べられていて、私もよく夏休み。絶好の機会です。

平成十一年度

事業計画計画

五月十一日

印教研 理科研究部総会

(成田小学校)

六月三十日

研究員集会 (成田小学校)

*夏休み中

理科実技研修会、現場研修会

(各部会単位で実施)

九月二十一日～二十四日

郡理科作品展 (成田小学校)

審査 二十二日

公開展示 二十四日

(九時～十二時)

搬出 二十四日 (午後)

(除展出品作品)

十月一日

印教研集会 (成田小学校)

*年間『理研会報』の発行

◎理事

一部会

平成十一年度
理科研究部役員一覽

◎理科研究部長

京相光徳 (四街道小)

◎理科研究副部長

玉井 仁 (旭中)

岩井 睦 (成田小)

◎各部会理科研究部長

*一部会部長
梅里之朗 (大室台小)

*二部会部長
飯田隆雄 (根本名小)

*三部会部長
鈴木 宏 (原山中)

*四部会部長
平野 久 (八街中)

*五部会部長
角井一郎 (四街道西中)

一部会

佐藤久司 (南志津小)

大野尊史 (千代田小)

蒲原 豊 (下志津小)

斎藤政勝 (白井南中)

森本敏彦 (井野中)

林 和之 (佐倉小)

小林 茂 (佐倉南中)

古谷 薫 (佐倉東中)

相田義則 (佐倉中)

松橋和彦 (白井西中)

杉山栄一 (井野中)

二部会

徳田 進 (富里小)

木川 香 (橋賀台小)

小山 治 (富里南小)

間宮哲人 (富里一小)

岩井 睦 (成田小)

伊藤久男 (加良部小)

一部会

林田孝二 (富里中)

武井正巳 (八生小)

三部会

今井和彦 (本埜一小)

関口勝義 (白井一小)

加藤弘明 (西の原中)

佐藤光廣 (永治小)

宮本久男 (内野小)

河辺久男 (本埜一小)

阿波寄守 (西の原小)

松田治久 (七次台中)

鈴木 宏 (原山中)

四部会

深山民夫 (朝陽小)

古嶋美文 (八街北中)

平野 久 (八街中)

大坊孝志 (八街南中)

三村宏治 (八街中央中)

平成十一年度

印教研理科研究九部 研究九テーマ

◎研究主題

子どもたちが興味を持ち、主体的に参加する理科学習は、どのようにすればよいか。

◎主題設定の理由

身のまわりには自然がたくさんあるが、その自然を利用しての理科学習が行われているかというところになると課題が多く残る現状である。

子どもたちが自然を見つめ、自然の中にとけこんでいく中で、自然を自分の身体で受け止める感

じ取れるような理科学習であらうと努力している。

自然に直接働きかけながら観察実験を行い、それを調べる態度や技能をどう育てていけば良いか、指導法・教材の選択などを考えていきたい。

五部会

京相光徳 (四街道小)

吉井猛彦 (中央小)

玉井 仁 (旭中)

久本邦夫 (栗山小)

森 成雄 (四街道小)

角井一郎 (四街道西中)

清水龍彦 (四街道北中)

◎幹事

佐藤由美子 (成田小)

岸 広 (中台小)

恒編佳木俊司記

理研会報第二七〇号をお届けいたします。今回は理科研究部の役員について掲載致しました。

投稿等につきましては、各部会部長にお尋ね下さい。(印教研理科研究部事務局)